

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	Tomo de coco 児童発達支援				公表日	令和7年 3月 31日		
	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	0	0	・午前になるお子様も午後で調節したり子どもの特性を見ながら臨機応変に対応できている。	法令を遵守したスペースを確保しております。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	3	0	0		1対1での対応が必要なお子様と他のお子様へのケアバランスを保つため、スタッフの配置や柔軟なシフト調整を検討し、全体的な対応の質向上を目指しております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	0	0	・カーベットが色分けされているところが工夫していると思う。	更に事業所室内の構造化を進め、子ども達が集中して活動できるようにしてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	0	0		できるだけスペースの差別化を行い、清潔維持に努めてまいります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	0	0	・子どもの特性に合わせて個別スペースを作ったり、おやつのできるようにしたりと良い環境作りができていると思う。 ・子どもに合わせてパーテーションで区切った部屋を作るなど工夫している。	一人ひとりの特性に応じたスペース作りをしております。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1	0	0	・日々のミーティングでみんなで周知することができています。 ・半期に一度の評価で自分の行動、すべきことを確認し、業務に活かしていている。	朝のミーティング、帰りの申し送りなどスタッフ間で情報共有をしております。また、定期的にケース会議も実施しております。それに加え、管理者とスタッフで定期的に面談を行い、振り返りや目標設定をしております。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2	0	0		保護者様に事業所評価アンケートを実施し、事業所の質の向上に努めております。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	0	1	・日々のミーティングや委員会活動などで話し合い、意見には柔軟に対応できていると思う。	ミーティングや委員会活動などで話し合い、意見を伝える場を設けており、業務改善につなげております。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	0	1	2		現在は保護者様・社内の2社評価となっております。第三者による外部評価については、今後必要に応じて実施を検討しております。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	0	0		年間研修計画を策定し、職員の質の向上に努めております。また、外部講師やトモココ顧問による研修の機会も設けております。
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	0	0		お子様に合った支援プログラムを作成し、公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	0	0		計画期間ごとにアセスメントを取り、児童発達支援計画を作成しております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	0	0		職員間の共通理解を図りながらお子様に合った項目を設定し、計画を作成しております。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	1	0		支援計画の共通理解を徹底し、計画に沿った支援を行ってまいります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	0	0		職員間で話し合いをした上で活動プログラムを立案しております。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	0	0		お子様に合った項目を設定し、計画を作成しております。

切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	0	0	・来所する子どもたちに合う支援ができるように話し合っ活動内容を決めることができる。 ・職員で話し合っその日のプログラムを考えているところが工夫されていると思う。	職員間で話し合いをした上で活動プログラムを立案しております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	0	0	・定期的に新しいプログラムを取り入れている。	お子様の発達状況に応じて、必要な活動プログラムを追加・修正しております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	0	0		1対1による個別指導、他者とのかわりの中で成長を促す集団指導を適切に組み合わせた療育を展開しております。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	0	0		朝のミーティングを行い、職員間での情報共有を行っております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	0	0		お子様が帰った後、職員間での情報共有を行っております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	0	0		毎回指導記録をとることで指導内容や方法を検討しております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1	0	0		定期的にモニタリングを行い、計画の見直し・修正を行っております。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1	0	1		感染症予防のため、現在は電話での報告を実施しておりますが、徐々に対面での報告も進めております。
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	0	1		地域の関係施設と連携して支援を行えるよう体制を整えております。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2	0	0		移行支援に関する具体的な事例はまだございませんが、今後必要があれば積極的に取り入れてまいります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。						移行支援に関する具体的な事例はまだございませんが、今後必要があれば積極的に取り入れてまいります。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。						
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。						
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。						
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	2	0	3		相談支援員とのモニタリングの際などに相談・助言を受けております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	1	4	1		地域のお子様との交流と専門療育を両立するため、保育所等と当事業所の並行保育を実施しております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4	2	0	0		保護者様のお迎え時、お子様の状況をお伝えしております。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	0	1		事業所内のペアレント・トレーニングは行っておりませんが、来年度ペアレント・メンターに来ていただき、保護者会を開催する予定です。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1	0	0		運営規程・利用者負担等について契約時にご説明させていただいております。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	1	0	0		モニタリングやアセスメントの際に面談や話し合いを行い、お子様やご家族様の意向を確認しております。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	1	0	0		ガイドラインに基づいた計画作成を行い、保護者様からの同意を得ています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	0	0		モニタリングやアセスメントの際や保護者様のご希望により事業所内相談支援を行っております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか、また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2	0	0		保護者様のアンケートを基に「Tomoに育つ会(保護者会)」を開催しております。来年度も開催予定ですので、ぜひご参加ください。
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1	0	0		個別相談のお申し出がございましたら、迅速に日時を設定し、適切な対応をさせていただきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	0	0	・楽しそうな活動の様子が伝わるようイベントの際にはSNSに投稿するようにしている。	毎月お配りさせていただいている「Tomo de cocoだより」を始めofficial LINEやInstagram等のSNSで、引き続き活動やイベント情報、連絡事項の発信をまいります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	1	0	0		個人情報記載された書類は鍵付き書庫に保管しております。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	1	0	0		特性に応じた視覚的なサポートや情報伝達手段を確保できるよう、状況の十分な把握に努めております。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	0	4	0		事業所内のイベントは、現段階では利用児童のみの参加となっておりますが、今後は地域のイベントにも積極的に参加していく予定です。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	0	1		各種マニュアルを策定し、研修を実施しています。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	0	0		火災訓練・地震・津波訓練を設定し、年2回以上の訓練を実施しております。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	1	0	1		お子様の状況を事前に確認し、職員全体へ周知しております。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	0	1		すべてのお子様についてアレルギーの有無を確認し、指導時に該当する物質との接触が生じないよう十分に注意を払っております。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1	0	1		火災訓練・地震・津波訓練を設定し、年2回以上の訓練を実施しております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	0	1		災害時の夷山公園への避難等、安全計画について契約時にご説明させていただいております。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	0	0		再発防止に向けてヒヤリハットを事業所内で共有し、検討を行っております。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	0	0		職員の虐待防止研修を行っております。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	0	1		身体拘束防止の為のマニュアルを策定し、年1回以上の研修を行っております。